

## EMC Sapporo & APEMC2019 「The Risaburo Sato Award」受賞

2019年6月7日に札幌にて開催された国際会議 EMC Sapporo & APEMC2019において、先進技術研究所の大西 輝夫<sup>†</sup>が情報通信研究機構（NICT：National Institute of Information and Communications Technology）の研究者とともに、「The Risaburo Sato Award（ザ・リサブロー・サトウ・アワード）」を受賞しました。

本賞は、通信工学ならびに環境電磁工学での権威である佐藤 利三郎氏の功績を記念し、特に電波の安心・安全利用に向けて学術的に顕著な功績が認められ、今後の実用化が期待される研究成果発表に対して授与される賞です。



受賞した大西 輝夫（左から3人め）

大西らは、5Gなどに用いられるMIMO（Multiple Input Multiple Output）送信の電波ばく露評価方法の精度向上について、特にMIMOのような複数アンテナからの同時送信時には、従来の最大電界強度の評価法に対して、Kオーダー推定手法\*1を適用すると従来に比べ誤差（実際値との差異）が大幅に減少することを確認し、その研究成果が高く評価され、今回の受賞となりました。

\*1 Kオーダー推定手法：周囲からの反射などを考慮した電界強度の指数関数式を展開する際の次数をKとし、Kを大きくすることにより推定精度を上げることができる手法。

<sup>†</sup> 2019年9月末まで先進技術研究所に在職

